平成 21 年 5 月 8 日

各　位

会 社 名：株 式 会 社　ダ イ ナ ッ ク
代表者名：代表取締役社長　若 杉　和 正
（コード番号：２６７５ 東証第二部）
問合せ先：取締役 管理本部長　法務･総務部長
CSR 推進担当　大和田　雄 三
（電話：０３‐３３４１‐４２１６）

剰余金の配当（第 2 四半期末配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年５月８日開催の取締役会において平成 21 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当（第２四半期末配当）の実施を見送ること及び平成 21 年 2 月 6 日に公表しました当期（平成 21 年９月期）の期末配当予想を修正することについて下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

１．第２四半期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 （平成 21 年２月６日公表）	前期実績 （平成 20 年９月中間）
基準日	平成 21 年３月 31 日	同左	平成 20 年３月 31 日
１株当たり配当金	0 円 00 銭	7 円 50 銭	7 円 50 銭
配当金の総額	－	－	52 百万円
効力発生日	－	－	平成 20 年６月 16 日
配当原資	－	－	利益剰余金

２．期末配当予想修正の内容

	１株当たり配当金				
基　準　日	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　　末	年　　間
前回予想 （平成21年２月６日公表）	－	7 円 50 銭	－	7 円 50 銭	15 円 00 銭
今回修正予想	－	(0 円 00 銭)	－	未定	未定
前期実績 （平成 20 年９月期）	－	7 円 50 銭	－	7 円 50 銭	15 円 00 銭

３．理由

当社の利益配分に対する考え方は、安定的な配当の維持と、将来に備えた内部留保の充実を念頭において利益配分を行うこととし、具体的には、配当性向 30%を目途とし上下 10%程度の幅の中で、中間配当と期末配当の年 2 回の配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、平成 21 年 5 月 1 日発表のとおり、第２四半期業績予想の下方修正に伴い、誠に遺憾ではございますが第２四半期末の中間配当金につきましては見送りとさせていただきます。

下期につきましては、収益の改善・経営基盤の強化に努め、期末配当金につきましては当期の通期業績等を勘案した上でご提案させていただきます。

以上